

公共施設の今後を考える
市民ワークショップ
開催報告書

令和元年 8 月

<目次>

1. 実施概要	1
2. 日時・会場等	1
3. 各回の実施内容	2
(1) 第1回市民ワークショップ.....	2
(2) 第2回市民ワークショップ.....	11
(3) 第3回市民ワークショップ.....	20
4. 参加者アンケートの結果	29

1. 実施概要

- 市民の皆様から印西市の公共施設の現状と課題を知っていただくこと、これから印西市が取り組もうとしている内容を体験を通じて知っていただくこと、また、具体的な施設を想定した複合化等のシミュレーションを通じて、市民の皆様から公共施設適正配置アクションプランの策定に参考となるご意見を頂くことを目的にワークショップを開催しました。
- ワークショップは全3回実施し、第1回では、支所・出張所で行っているサービスの今後のあり方を、第2回・第3回ではモデル施設を対象にした複合化等シミュレーションにより、今後の公共施設について市民の皆様から意見交換をしていただきました。

2. 日時・会場等

- 会場：中央駅前地域交流館 1号館 2階視聴覚室
- 募集人数：30名程度
- 申込者数：29名／全4班（A～D班）・班メンバーは固定
- 参加形態：事前申込制（参加費無料）
- 告知方法：広報いんざい、市ホームページ、市ツイッター、募集案内チラシ配布（各公共施設）
※上記一般募集の他、無作為抽出の18～40歳1,000名に案内はがきを送付し、若い世代へ参加を呼びかけました。

回数	日時	内容	参加者数
第1回目	令和元年5月25日（土） 10時00分～12時00分	① 印西市の公共施設の現状と課題について ② 支所・出張所で行っているサービスを考える	22人
第2回目	令和元年6月15日（土） 10時00分～12時00分	① 公共施設マネジメントの取り組み事例について知る ② 滝野出張所と牧の原出張所の集約化について考える	19人
第3回目	令和元年7月7日（日） 10時00分～12時00分	① 公共施設マネジメントの取り組み事例について知る ② 印旛公民館とふれあいセンターいんばの複合化について考える	16人

3. 各回の実施内容

(1) 第1回市民ワークショップ

<概要>

第1回のワークショップは、「今後の支所・出張所のサービスについて」をテーマに開催しました。印西市の人口・財政の動向や公共施設の現状・課題をふまえ、現在、支所・出張所において実施している市民サービスについて、今後どのように行っていけば良いか、グループ毎に意見交換をして頂きました。

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00~10:05	開会あいさつ
10:05~10:35	①ワークショップの目的について ②印西市の公共施設の現状と課題 ～公共施設マネジメントの必要性～ ③印西市の支所・出張所について ④第1回 公共施設の今後を考える市民ワークショップの進め方について
10:35~11:25	グループワーク： 今後求められる支所・出張所のサービスについての意見交換
11:25~11:30	休憩
11:30~11:55	①意見交換内容の発表 ②本日のまとめ
11:55~12:00	閉会

<当日の内容>

○公共施設マネジメントの必要性についての説明

本市の人口・財政の動向や、公共施設の現状と将来費用の見通し等の説明を通じて、公共施設マネジメントに取り組む必要性について説明しました。また、今後の市の取り組みのもととなる、「印西市公共施設等総合管理計画」及び「印西市公共施設適正配置実施方針」の概要について説明しました。



○印西市の支所・出張所についての説明

現在の支所・出張所の状況とそこで実施しているサービス内容について説明しました。年間窓口件数や年間支出といった基本情報に加えて、証明書のコンビニ交付の導入等の最近の動向や、建物の老朽化等の課題を交えながら説明しました。



印西市の支所・出張所 2

施設名	専有面積 (㎡)	建築年度	耐用年数
①：印樺支所(ふれあいセンターいんば内)	3,029	2003	47
②：本笠支所	2,914	1984	50
③：中央駅前出張所(中央駅前地域交流館内)	271	1990	47
④：牧の原出張所(BIGHOP駅前ビレッジ内)	56	-	-
⑤：小林出張所(小林コミュニティプラザ内)	67	1994	50
⑥：船穂出張所(船穂コミュニティセンター内)	70	2002	27
⑦：滝野出張所(本笠ファミリア館内)	379	2002	22
⑧：岩戸出張所(印樺歴史民俗資料館内)	56	1978	50
⑨：平賀出張所(平賀地区構造改善センター内)	115	1987	47

<グループワーク>

支所・出張所で行っているサービスについて、今後どのようにしていけば良いか、意見交換をして頂きました。

また、現在行っているサービスについて、「サービスを行う位置（「市に1箇所程度」、「駅周辺ごと」、「地区ごと）」と「その位置で行った方が良い理由」について、意見交換をして頂きました。

<STEP 1>

- 各自のサービスカードを一人ずつ順番に、望ましいと考える位置に、「理由」とともに振り分けて頂きました。

<STEP 2>

- テーブルの用紙を確認しながら、サービスカードがその位置で良いか意見交換をして頂きました。

インターネットで手続きが出来た方が良いのではないかと。

後期医療制度関係

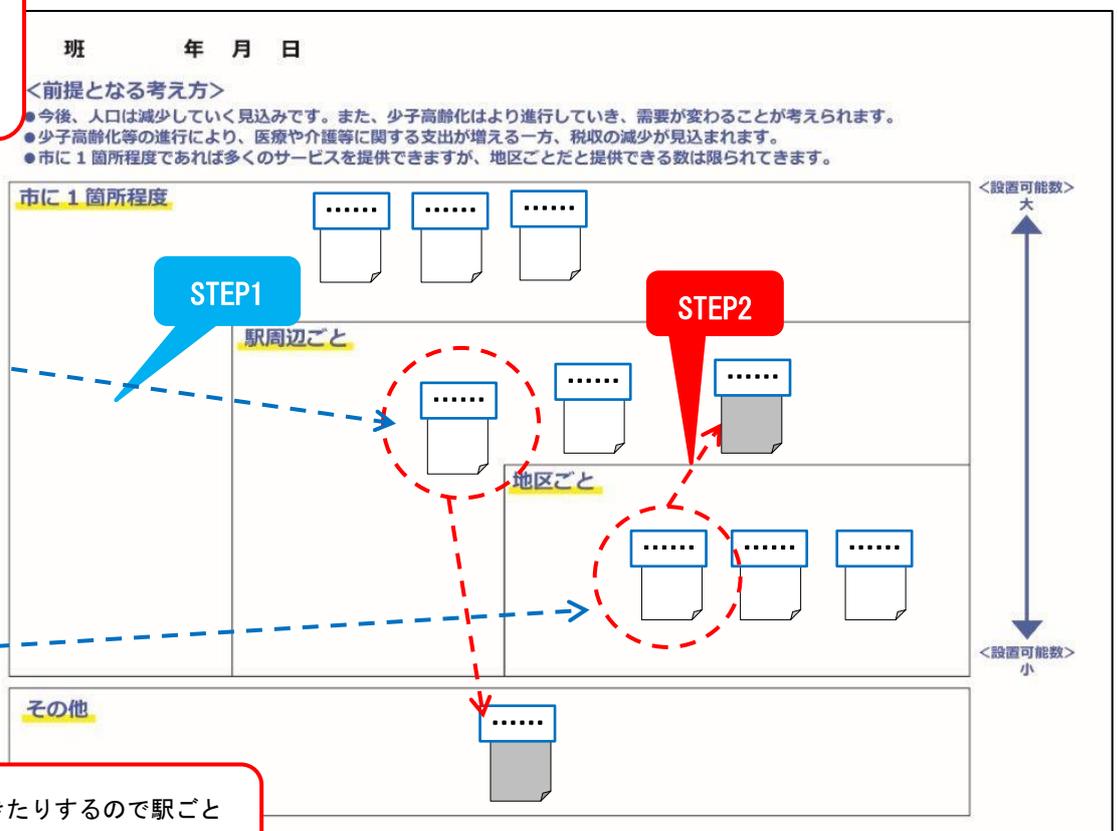
今後、需要が見込まれるため、駅周辺ぐらいには必要

<付せん紙記入例>

住民記録、印鑑登録

それなりの頻度で利用するため、身近なところに必要

コンビニ交付ができたりするので駅ごとぐらいで良いのではないかと。



<グループワークの様子>

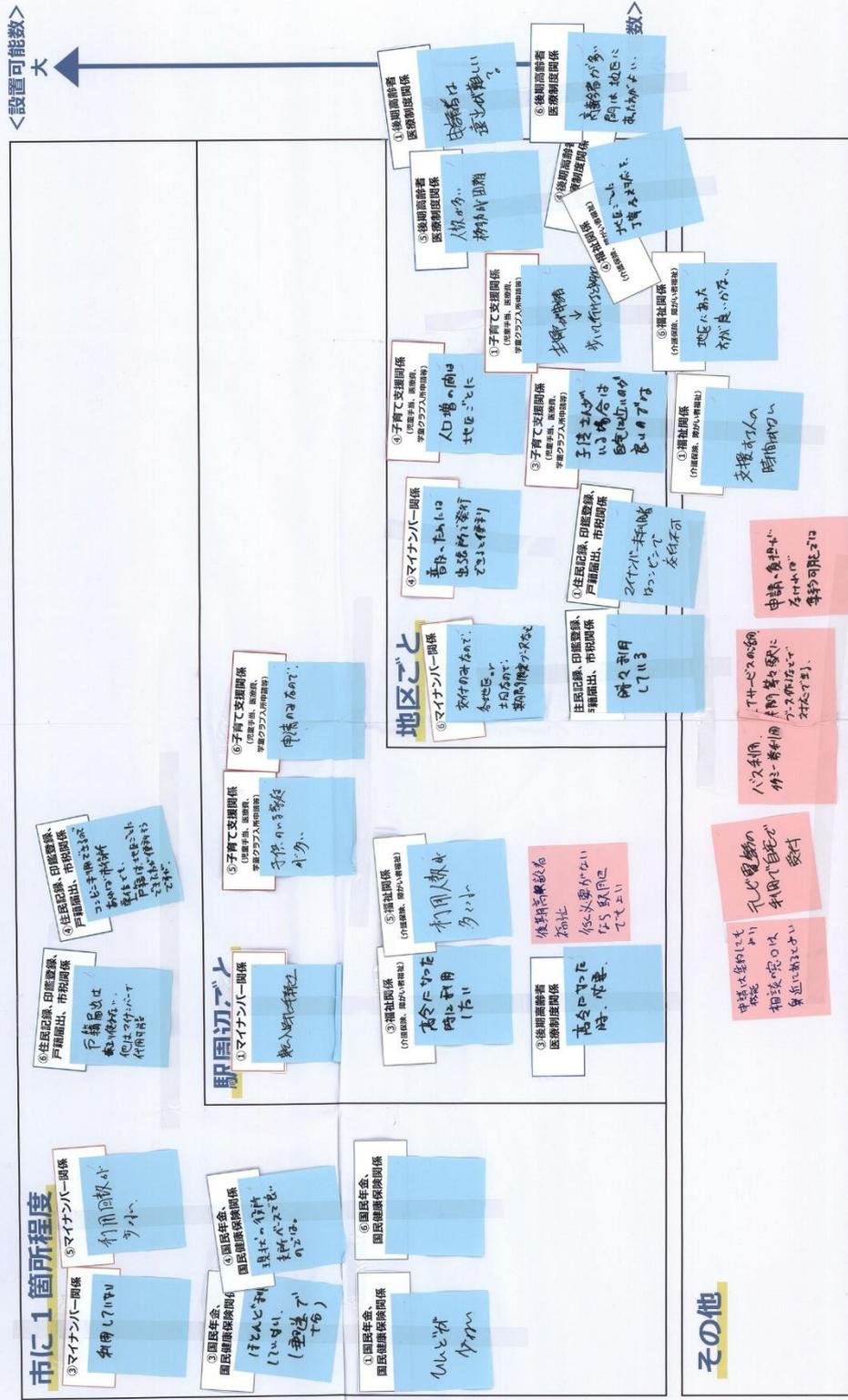
<グループワーク結果>

A 班

A 班 2019年6月25日

<前提となる考え方>

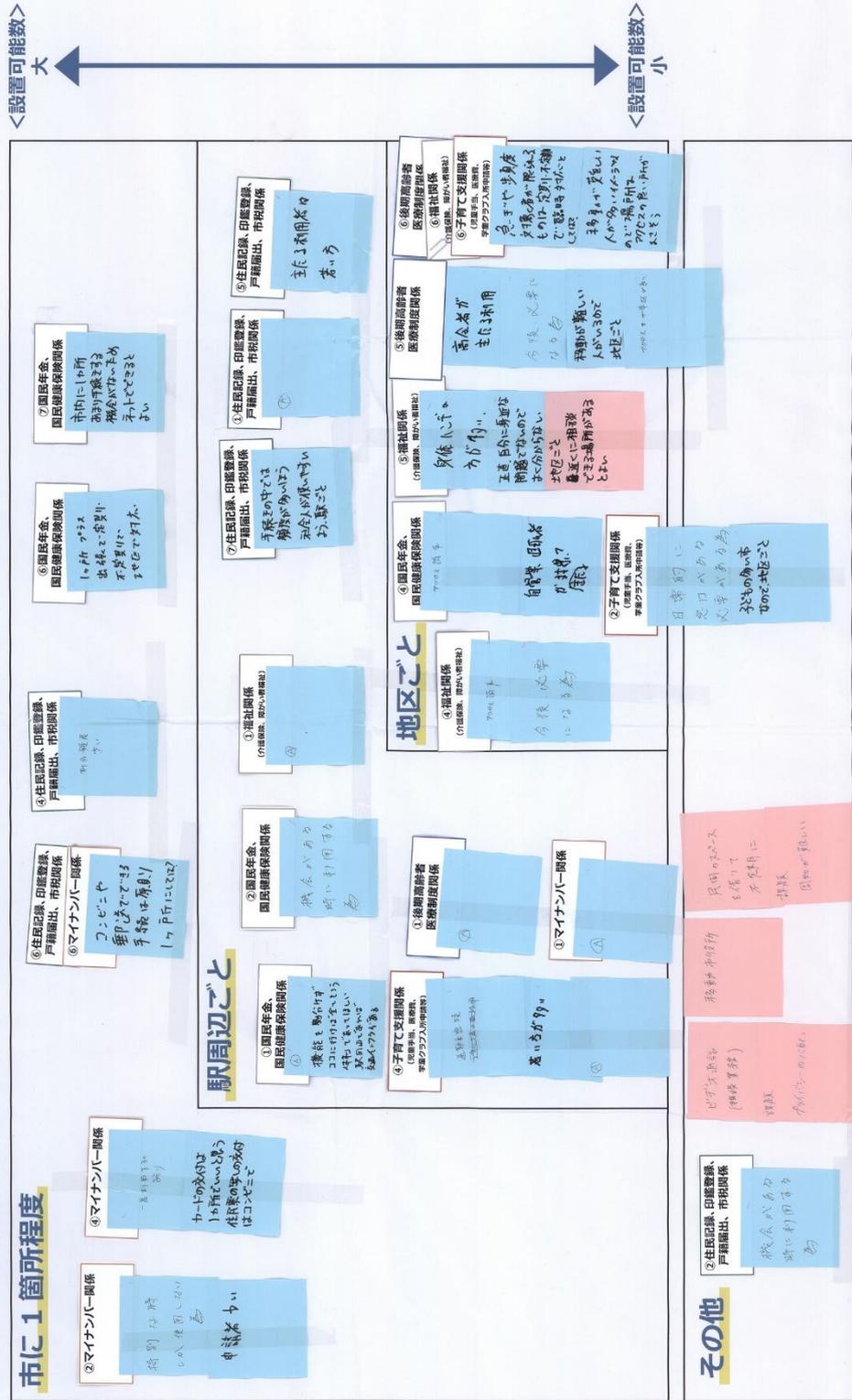
- 今後、人口は減少していく見込みです。また、少子高齢化はより進行していき、需要が変わることが考えられます。
- 少子高齢化等の進行により、医療や介護等に関する支出が増える一方、税収の減少が見込まれます。
- 市に1箇所程度であれば多くのサービスを提供できますが、地区ごとだと提供できる数は限られてきます。



C 班 2019年5月25日

<前提となる考え方>

- 今後、人口は減少していく見込みです。また、少子高齢化はより進行していき、需要が変わることが考えられます。
- 少子高齢化等の進行により、医療や介護等に関する支出が増える一方、税収の減少が見込まれます。
- 市に1箇所程度であれば多くのサービスを提供できますが、地区ごとと提供できる数は限られてきます。



D 班
 年 5 月 2 日

<前提となる考え方>

- 今後、人口は減少していく見込みです。また、少子高齢化はより進行していき、需要が変わることが考えられます。
- 少子高齢化等の進行により、医療や介護等に関する支出が増える一方、税収の減少が見込まれます。
- 市に 1 箇所程度であれば多くのサービスを提供できますが、地区ごとと提供できる数は限られてきます。

市に 1 箇所程度

⑤ 国民年金、国民健康保険関係
 一〇や木はあな

駅周辺ごと

⑤ 子育て支援関係
(児童手当、児童館、児童クラブなど)
 中心地区が
 優遇されるのは
 エロキ
 行政内に
 乙種、甲種
 あり(保善園)

行政や行政
 組織が
 再考が必要

地区ごと

⑤ 住民記録、印鑑登録、戸籍届出、市税関係

⑤ 後期高齢者医療制度関係
 支所を
 兼通し

⑤ マイナンバー関係
 支所が
 二つある
 存在?

<設置可能数>
 大

<設置可能数>
 小

その他

⑤ 市が
 行うサービス
 を知りた

交通に防犯
 対応できる
 と要する

⑤ 西村が
 工事の文化
 について

交通が便利
 な中心地が
 (多い)

PCが
 行政に
 活用できる
 環境を
 整備して
 ほしい

46年以内
 の健康増進
 何らかの
 関係が
 必要
 46年以内
 の健康増進
 関係が
 必要
 考え

意見のまとめ（第1回）

各班で意見交換をして頂いた内容を整理し、以下のように取りまとめました。なお、基本的に原文のままとしておりますが、一部、意味が変わらない程度に文言を改めている箇所がございます。

サービスカード	位置	意見内容
住民記録、印鑑登録、戸籍届出、市税関係	市に1箇所程度	戸籍届出はあまり使わない。他はマイナンバーで代用可能
		コンビニ利用できるのであれば市役所単位でも。戸籍は地区ごとに来ての方が便利そう
		この10年間困っていない
	駅周辺ごと	使用頻度が少ない
		コンビニや郵送でできる手続きは原則1箇所にしては？
		利用頻度少ない
		機能を分けてここにに行けば全てそろえる体制であってほしい。駅周辺であれば交通インフラがある
	地区ごと	手続きの中では頻度が多いほう。社会人が使いやすいように駅ごとに
		主たる利用者は若い方
コンビニなどでも対応されているとの事で駅周辺ごと		
頻度が高い → コンビニでできるならOK		
		需要が多いので近くにあるところがよい
		時々利用している
		マイナンバー未利用者はコンビニで交付不可

サービスカード	位置	意見内容
国民年金、国民健康保険関係	市に1箇所程度	ほとんど利用していない(郵送で十分)
		現状の役所支所ベースでよいのでは
		頻度が少ない
		使用頻度が少ない
	駅周辺ごと	郵送でのやりとりができる。
		1箇所プラス出張で定期・不定期で地区で対応
		あまり手続きする機会がないため。ネットでできるとよい
	地区ごと	一回やればおわり
		機会がある時に利用するため
		機能を分けてここにに行けば全てそろえる体制であってほしい。
		駅周辺であれば交通インフラがある
		使用頻度少ない
		アクセスが簡単な方がよい
		自営業、退職者が主たる対象となる
		利用者が多いので身近にあるところがよい
		近くで対応できるよ

サービスカード	位置	意見内容
後期高齢者医療制度関係	市に1箇所程度	限定的なので市役所、支所、中央駅前出張所がよい
		電子化するならOK
	駅周辺ごと	公共交通網の充実を図ってもらえるなら
		高齢になった時必要
		行く必要がないなら駅周辺でもよい
	地区ごと	機能を分けてここにに行けば全てそろえる体制であってほしい
		駅周辺であれば交通インフラがある
		申請者は遠出が難しい？
		人数が多い。移動が困難
		高齢者が多い間は地区にあった方がよい
		地区ごとに丁寧な対応を
		お身体の不自由な方、ご家族が行きやすいよう
これから増加する		
		高齢者が主たる利用
		今後必要となるため
		移動が難しい人がいるので
		アクセスが単純(簡単)な方がよい
		急ぎや頻度 対象者が限られるものは定期・不定期で臨時対応としては？
		移動が難しい人が多いイメージなので場所はアクセスの良い所がよさそう
		支所まで遠い

サービスカード	位置	意見内容	
子育て支援関係 (児童手当、医療費、学童クラブ入所申請等)	市に1箇所程度	集約化しても良い	
		中心地だけが優遇されるのはよくない	
	駅周辺ごと	市役所に行かないとできない申込みがある(保育園)	
		通勤に密接	
		若い方が多い	
		子どもの人口が多い。駅周辺地区がよい	
	地区ごと	機能を分けてここにに行けば全てそろえる体制であってほしい。	
		駅周辺であれば交通インフラがある	
		子どものいる家庭が多い	
		申請のみなので	
			主婦が申請一歩いけると助かる
			子どもさんがいる場合は自宅に近いのが良いのでは
			人口増の間は地区ごとに
			ニーズの捉え方。学校に密着して
			緊急時など対応できるように
			お仕事と子育てで忙しい方が行きやすいよう
			利用者が多く、使われそう
			日常的に窓口がある必要があるため
		子どもの多い市なので	
		急ぎや頻度 対象者が限られるものは定期・不定期で臨時対応としては？	
		移動が難しい人が多いイメージなので場所はアクセスの良い所がよさそう	

サービスカード	位置	意見内容
福祉関係（介護保険、障がい者福祉）	市に1箇所程度	集約化しても良い
		限定的なので本庁支所でよい
	駅周辺ごと	高齢になった時に利用したい
		利用人数が多くない
		機能を分けずにここに行けば全てそろえる体制であってほしい。 駅周辺であれば交通インフラがある
	地区ごと	地区ごとに丁寧な対応を
		支援する人の時間がない
		地区にあった方が良くない
		ニーズに応じるため、ニーズの把握
		お身体の不自由な方も行きやすいよう
		介護を必要とする方が増加
		身体ハンデの方が多い
アクセスが簡単な方が良い		
今後必要となるため		
近くに相談できる場所があるとよい		
急ぎや頻度 対象者が限られるものは定期・不定期で臨時対応としては？ 移動が難しい人が多いイメージなので場所はアクセスの良い所がよさそう		

サービスカード	位置	意見内容
マイナンバー関係	市に1箇所程度	利用していない
		利用回数が少ない
		頻度低いので
		普及していない。必要ない
		利用者が限られているので、市役所1箇所でもよい
		特別な時にしか使用しないため
		申請者少ない
		一度利用すると終わり
	駅周辺ごと	カードの交付は1箇所でもいいと思う。住民票の写しの交付はコンビニで コンビニや郵送でできる手続きは原則1箇所にしては？ 機能を分けずにここに行けば全てそろえる体制であってほしい。 駅周辺であれば交通インフラがある
		転入時に手続き
	地区ごと	よくわからない。これからどうなる？
		1度交付すれば済むので。土日などに各地区で期間限定でブースを設けるなどでもできるのでは。 普及のためには出張所で発行できると便利

その他の意見内容	意見内容
	申請機能は集約してもよい。相談の窓口は身近にあるとよい。
	テレビ電話の利用で自宅で受付
	ITサービスの活用。駅等の民間スペースを活用して対応できる
	移動市役所（民間のスペースを借りて不定期に。→課題：プライバシーの心配、実施の周知）
	駅の利用に馴染みがない。
	交通や防災とあわせて考える必要がある
	464号沿いを様々なサービスが受けられるエリアとしても良いのでは → アクセス道路の整備 印西市がゴースタウン化しないようにしてほしい 後期高齢者医療制度については、地域包括ケアとの連携を見直す

意見のまとめ

- コンビニで完結できる「住民記録・印鑑登録・戸籍届出等の証明書発行」や、利用頻度があまり多くない「市税関係」「国民年金、国民健康保険関係」、1度の手続きで完結される「マイナンバー関係」については、「市に1箇所程度」との意見が多い傾向でした。
- 今後利用者の増加が見込まれる「後期高齢者医療制度関係」や、利用者のアクセス性への配慮が必要となる「福祉関係」「子育て支援関係」については、「地区ごと」との意見が多い傾向でした。また、利用実態として、相談窓口の役割も支所・出張所が担っているとの指摘もありました。
- 駅周辺においては、「いずれかのサービス」ではなく、そこに行けば「全てのサービス」が完結できると良いとの意見がありました。一方で、駅の利用に馴染みがないとの意見もありました。
- サービスの提供方法として、定期的に地区を回る「移動市役所」や、「ビデオ通話」を活用した方法もあるのではないかと、意見がありました。

(2) 第2回市民ワークショップ

<概要>

第2回のワークショップは、印西市公共施設適正配置実施方針において、集約化を検討する施設と位置づけられている「滝野出張所」と「牧の原出張所」の集約化をテーマに開催しました。集約化のパターン毎に、考えられる課題や具体的な集約方法などについて意見交換をして頂きました。

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00~10:05	開会
10:05~10:35	①ワークショップの目的と前回のおさらい ②公共施設マネジメントの取り組み事例について ③滝野出張所・牧の原出張所について ④第2回 公共施設の今後を考える市民ワークショップの進め方について
10:35~11:25	グループワーク： 滝野出張所と牧の原出張所の集約化についての意見交換
11:25~11:30	休憩
11:30~11:55	①意見交換内容の発表 ②本日のまとめ
11:55~12:00	閉会

<当日の内容>

○公共施設マネジメントの取り組み事例の紹介

他の自治体における公共施設マネジメントの手法として、「集約化」と「複合化」の事例を中心に紹介しました。グループワークのヒントとなるよう、手法それぞれの効果や考え方などについての説明を交えながら、お伝えしました。

公共施設マネジメントの手法について 1

主な手法として、「集約化」、「複合化」、「転用」、「実施主体や管理運営主体の変更」などがあります。
このうち、本日は「集約化」と「複合化」を中心に事例をご紹介します。

方法	内容	イメージ
集約化	<ul style="list-style-type: none"> 同一サービスの複数施設をより少ない施設規模や数に集約すること。 	<p>施設A → 施設A 施設A → 施設A 施設A → 施設A</p>
複合化	<ul style="list-style-type: none"> 異なるサービスの複数施設を同一の施設に集約化すること。 	<p>施設A → 施設A+B 施設B → 施設A+B</p>

事例①：集約化(静岡県焼津市) 3

現在の保育園をそのまま建替える場合と比較すると・・・

- ①利用状況の変化に合わせた、施設の規模の適正化
- ②施設規模の削減による、建物の整備や大規模改修に係る工事費の縮減
- ③施設数の削減による、日常的な施設管理に係るコストの削減

事例②：焼津市 保育園の統合

老朽化に伴う更新に際し3園を統合
全体の延床面積を約10% (210㎡) 削減
新たに地域交流室を設置

【写真の出典】焼津市作成資料

○滝野出張所・牧の原出張所についての説明

滝野出張所と牧の原出張所の概要として、実施している業務とその利用件数、最近の動向や建物、立地状況等について説明しました。



< 滝野出張所 (本荘ファミリア館内) >



< 牧の原出張所 (BIGHOP 駅前ビレッジ内) >

<グループワーク>

「牧の原出張所を滝野出張所へ集約化するパターン A」と「滝野出張所を牧の原出張所へ集約化するパターン B」をモデルケースとして、パターン毎に、集約化した場合に考えられる課題や具体的な集約化方法などについて、意見交換をして頂きました。

<STEP 1>

- 集約化のパターン毎に、「考えられる課題」を確認し、課題毎に「配慮事項」を考えて付せん紙に記入して頂きました。

<STEP 2>

- テーブルの用紙の内容を確認しながら意見交換を行い、おすすめパターンを選んで頂きました。

<付せん紙イメージ>

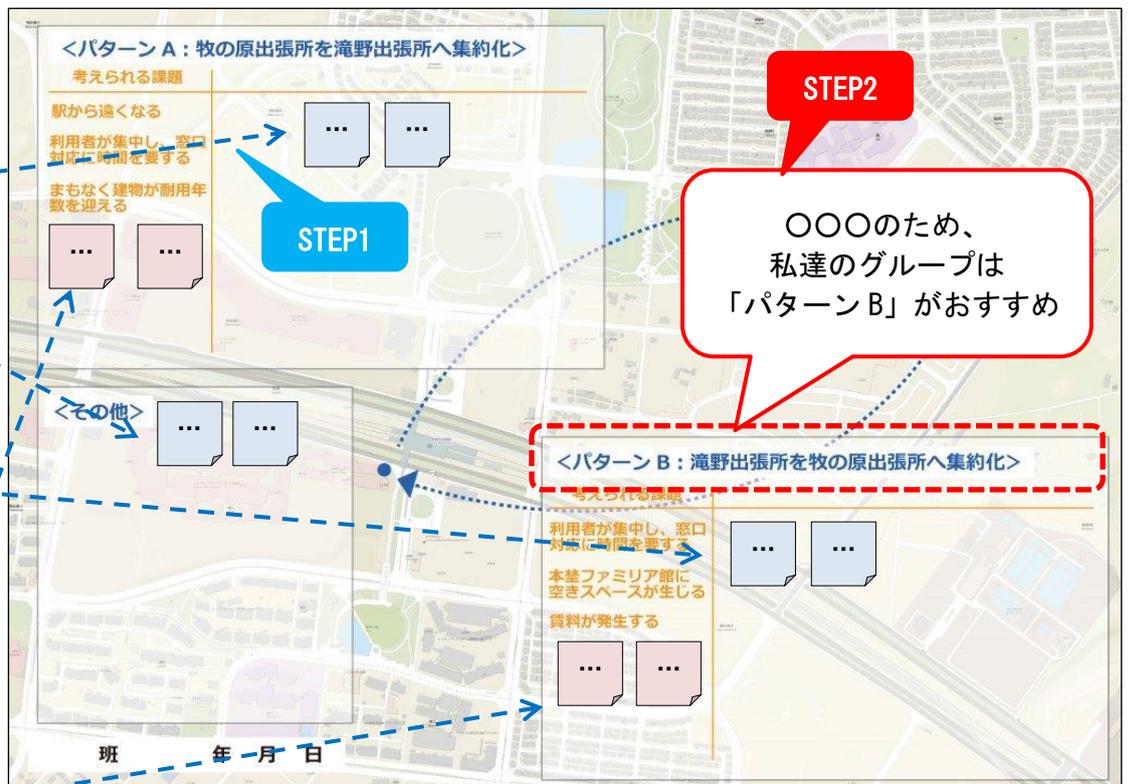
△△△ということに取り組みが良い。

□□という集約化の方法もある

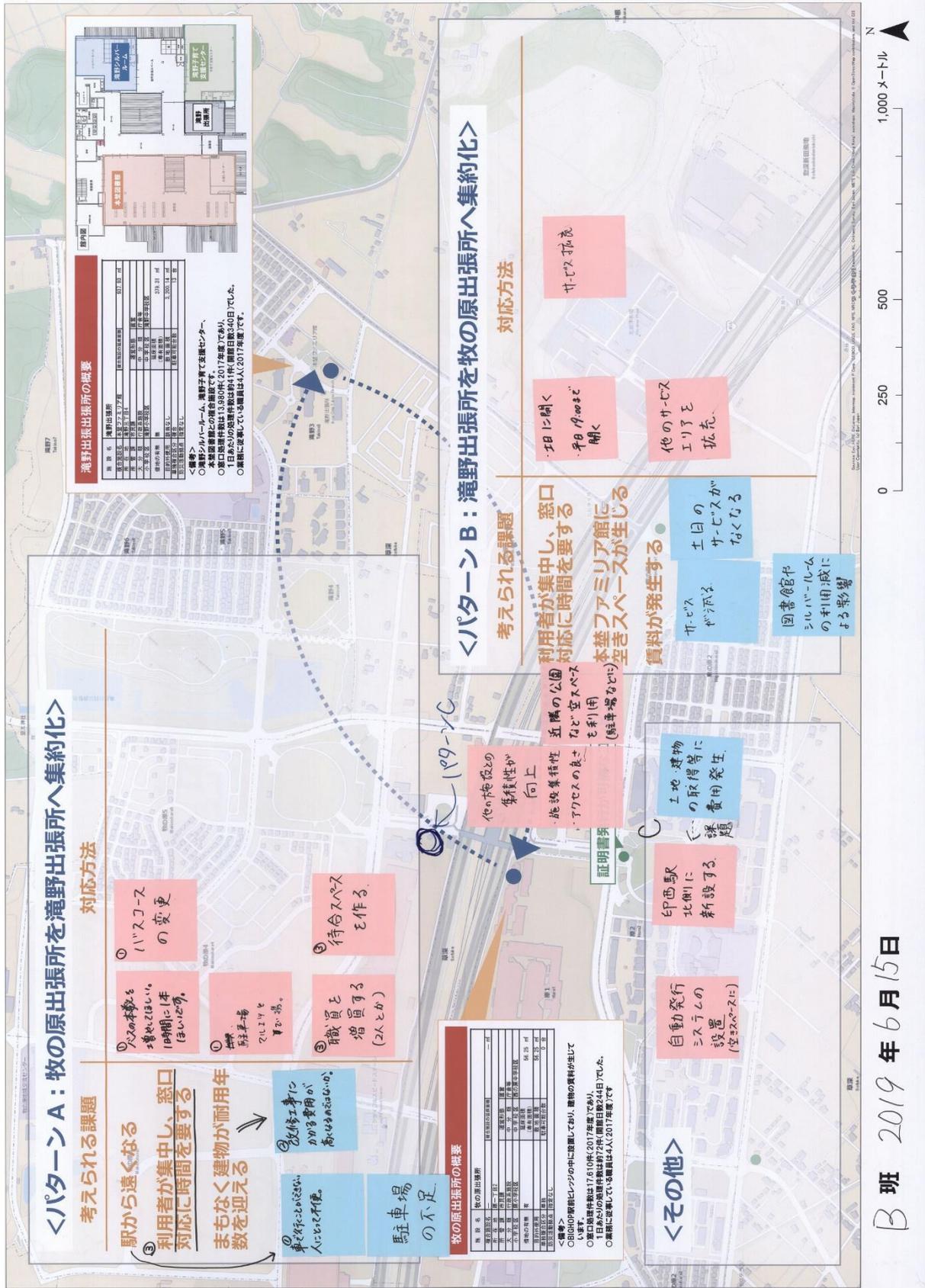
■ ■ ■ ということに配慮すれば良いと思う

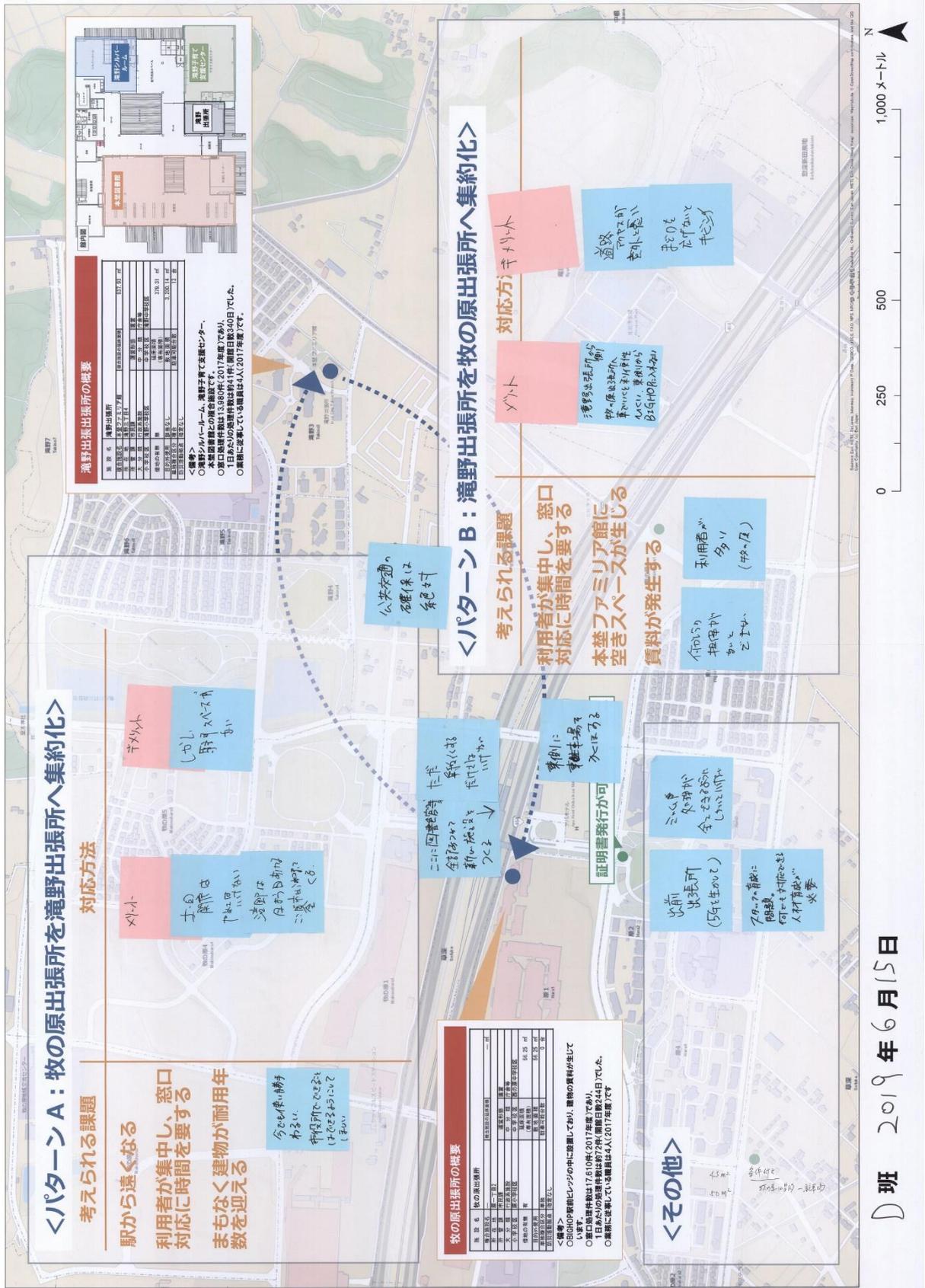
▼ ▼ ▼ ということも課題である

★ ★ ★ ということも課題である



<グループワークの様子>





D 班 2019年6月15日

意見のまとめ（第2回）

各班で意見交換をして頂いた内容を整理し、以下のように取りまとめました。なお、基本的に原文のままとしておりますが、一部、意味が変わらない程度に文言を改めている箇所がございます。

パターンA：牧の原出張所を滝野出張所へ集約化

課題	対応方法	関連する意見
駅から遠くなる	→ シャトルバスを出すorふれあいバスの本数を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・実際は徒歩20分以上かかる ・駅の南は高齢者が多いため徒歩15分は大変 ・車で行くことができない人にとって不便、駐車場の不足 ・駐車場が少ない ・交通インフラの見直しが必要 ・牧の原出張所は利用者が多い
	→ バスの本数を増やしてほしい。1時間に1本ほしいです。	
	→ マルエツと提携して、駐車場を確保する	
	→ バスコースを変更し、アクセスできるようにする	
まもなく建物が耐用年数を迎える	→ 建替えて長く使えるようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事にかかる費用が高くなるのではないかと ・建替えの時期、規模がどうなるかによる
	→ 建替えるならもっと多くのことができるようにしたほうがよい	
	→ 改修工事にともなう全体のレイアウトの考え直し	
利用者が集中し、窓口対応に時間を有する	→ 職員を増員する(2人とか)	<ul style="list-style-type: none"> ・今でも使い勝手がわるい。市役所で出来ることを、出張所でもできるようにしてほしい。
	→ 待合スペースを作る	
	→ 駅前に遠隔受付窓口を設ける	
	→ 窓口業務内容の割合から、利用の多い証明書交付、市税等収納などのコンビニ利用を促す(特典を付ける)	
	→ プラスにとらえる。集約化することで機能の見直しを考える	

パターンB：滝野出張所を牧の原出張所へ集約化

課題	対応方法	関連する意見
利用者が集中し、窓口対応に時間を有する	→ 窓口を広くする。窓口広げないときびしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・土日や平日夜間に開所することは可能か？(平日8:30～17:15では行けない) ・近くに幼稚園があり(民間だと難しいと思うが)協力して利用できる施設にしても良いのではないかと ・滝野出張所は、土日に空いているが、それが無くなってしまう ・駅の北側から牧の原出張所へ車で行くと利便性が低い。東側からBIGHOPIに入れない。
	→ 駅前に遠隔受付窓口 or 証明書発行コンビニが必要	
	→ 滝野出張所で行っている土日開庁を引き続き行う。ここに全市からあつまってくる。	
本埜ファミリア館に空きスペースが生じる	→ 他のサービスエリアを拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設ならではの良さがなくなる。 ・図書館やシルバーームの利用者数が減るのでは ・シルバーームの管理業務を対応する人が必要 ・出張所機能だけを駅に入れて建替えをしても意味がないのでは
民間施設を借りているため、賃料が発生する	→ 空きテナントに本埜ファミリア館の全ての機能を入れて移転させ、費用を一本化する。	-

その他のご意見

項目	意見内容		
集約化方法に関すること	→	印西牧の原駅北側の新たな場所に新設する	将来的には印西牧の原駅前に施設を集約化
	→	ふれあい文化館に出張所機能を入れる	ふれあい文化館に複合化し本埜ファミリア館に使う修繕費などを文化館に使うほうが有意義だと思います。
	→	北総線沿いに施設を集めるべき	他の公共施設に複合化する
	→	まちづくりのビジョンがみえない	将来の人口変化を見通した施設計画が必要
サービス提供に関すること	→	中央駅前出張所と同じサービスを提供する	自動発行システムの設置(空きスペースに)

<パターンA: 牧の原出張所を滝野出張所へ集約化>

○駅から遠くなることに関しては、「バス本数の増便」「駐車場の確保」を行うことが挙げられました。印西牧の原駅からは徒歩で20分以上かかることや、現状の駐車場が狭いことが意見としてありました。

○建物が耐用年数を迎えることについては、「建物の長期利用」「建替えの際に施設の更なる多用途化」を行うことが挙げられました。一方、改修工事に掛かる費用が高くなるのではないかと意見もありました。

○窓口対応に時間を要することについては、「職員の増員」「他の場所でのサービス利用の促進」を行うことが挙げられました。また、集約化の際には、市役所で行っているサービスを出張所でもできるようにして欲しいとの意見がありました。

<パターンB: 滝野出張所を牧の原出張所に集約化>

○窓口対応に時間を要することについては、「窓口スペースを広げる」「土日開庁の実施」「他の場所でのサービス利用の促進」を行うことが挙げられました。特に滝野出張所で行っている土日開庁については、全市から利用者が来るため集約化後も継続して行って欲しいとの意見や、夜間開所をしてほしいとの意見がありました。

○空きスペースが生じることについては、「他のサービスのスペースを拡充」を行うことが挙げられました。しかし、出張所だけが移転することに対して、複合施設の良さがなくなるのではといった、メリットがあるのかという指摘もありました。

○賃料が発生することについては、滝野出張所だけでなく、本埜ファミリア館の施設すべてを、利便性の高い印西牧の原駅前の民間施設の空きテナントに移転させ、要する費用を一本化することが挙げられました。

<その他のご意見>

○集約化に関することとして、新たなパターンである「印西牧の原駅周辺に集約化した新施設を設置する」「ふれあい文化館と複合化すること」等が挙げられました。

○サービスに関することとして、「業務を拡充している中央駅前出張所と同じサービスを提供する」「証明書等の発行システムを空きスペースに設置する」ことが挙げられました。

(3) 第3回市民ワークショップ

<概要>

第3回のワークショップは、印西市公共施設適正配置実施方針において、複合化を検討する施設と位置づけられている「印旛公民館」と「ふれあいセンターいんば（印旛支所）」の複合化をテーマに開催しました。施設の各部屋の利用内容を踏まえながら、複合化させる部屋と、より使い勝手がよくなり、様々な方に使っていただくためのアイデアや施設の運営方法などについて意見交換をして頂きました。

<タイムスケジュール>

時間	内容
10:00~10:05	開会
10:05~10:35	①ワークショップの目的と前回のおさらい ②公共施設マネジメントの取り組み事例について ③印旛公民館・ふれあいセンターいんばについて ④第3回 公共施設の今後を考える市民ワークショップの進め方について
10:35~11:20	グループワーク： 印旛公民館・ふれあいセンターいんばの複合化についての意見交換
11:20~11:25	休憩
11:25~11:55	①意見交換内容の発表 ②本日のまとめ
11:55~12:00	閉会あいさつ

<当日の内容>

○公共施設マネジメントの取り組み事例の紹介

他の自治体における公共施設マネジメントの手法として、第3回のテーマである「複合化」の事例を中心に紹介しました。市民委員会を経て事業化された事例や、民間事業者による複合施設の整備・運営の事例など、これからの取り組みを見据えた事例を紹介しました。

公共施設マネジメントの手法について 1		事例④：民間ノウハウの活用（東京都稲城市） 8	
<p>主な手法として、「集約化」、「複合化」、「転用」、「実施主体や管理運営主体の変更」などがあります。 このうち、本日は「複合化」の事例をご紹介します。</p>		<p>事業者独自の発想・ノウハウを自主事業に活かした、地元団体との連携、利用者目線で運営。</p>	
方法	内容	イメージ	<p>床面積／約4,962㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習・コミュニティ施設（314.57㎡） ・児童・青少年施設（442.88㎡） ・図書館（458.42㎡） ・ホール施設（1019.99㎡） ・市役所出張所（101.49㎡） <p>■整備時期／平成21年 ■構造／SRC造・地上2階、地下2階 ■総工費／約69億円</p>
集約化	<ul style="list-style-type: none"> ・同一サービスの複数施設をより少ない施設規模や数に集約すること。 		<p>【背景】 本施設は、「コミュニティ及び生涯学習の拠点」「文化芸術の拠点」「青少年健全育成の拠点」を柱に、生涯学習・コミュニティ施設、ホール、児童・青少年施設、図書館等のそれぞれに関する公共サービスを提供。また、民間事業者の付帯事業も合わせ行うことにより、新たな拠点形成を目指した。</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則有料の生涯学習エリアは、様々な活動で、20時までにご覧。 ・図書館は生涯学習に関する蔵書、種類が豊富になった。 ・施設維持について、修繕等の迅速な対応も含め、メリットが大きい。
複合化	<ul style="list-style-type: none"> ・異なるサービスの複数施設を同一の施設に集約すること。 		

○印旛公民館・ふれあいセンターいんばについての説明

印旛公民館とふれあいセンターいんばの概要として、建物や立地の状況、構成される部屋とそこで実施している事業の内容等について説明しました。



<印旛公民館>



<ふれあいセンターいんば>

<グループワーク>

「印旛公民館」の各部屋について、主な利用内容を踏まえながら、ふれあいセンターいんぼとどのように複合化すればよいか意見交換をして頂きました。

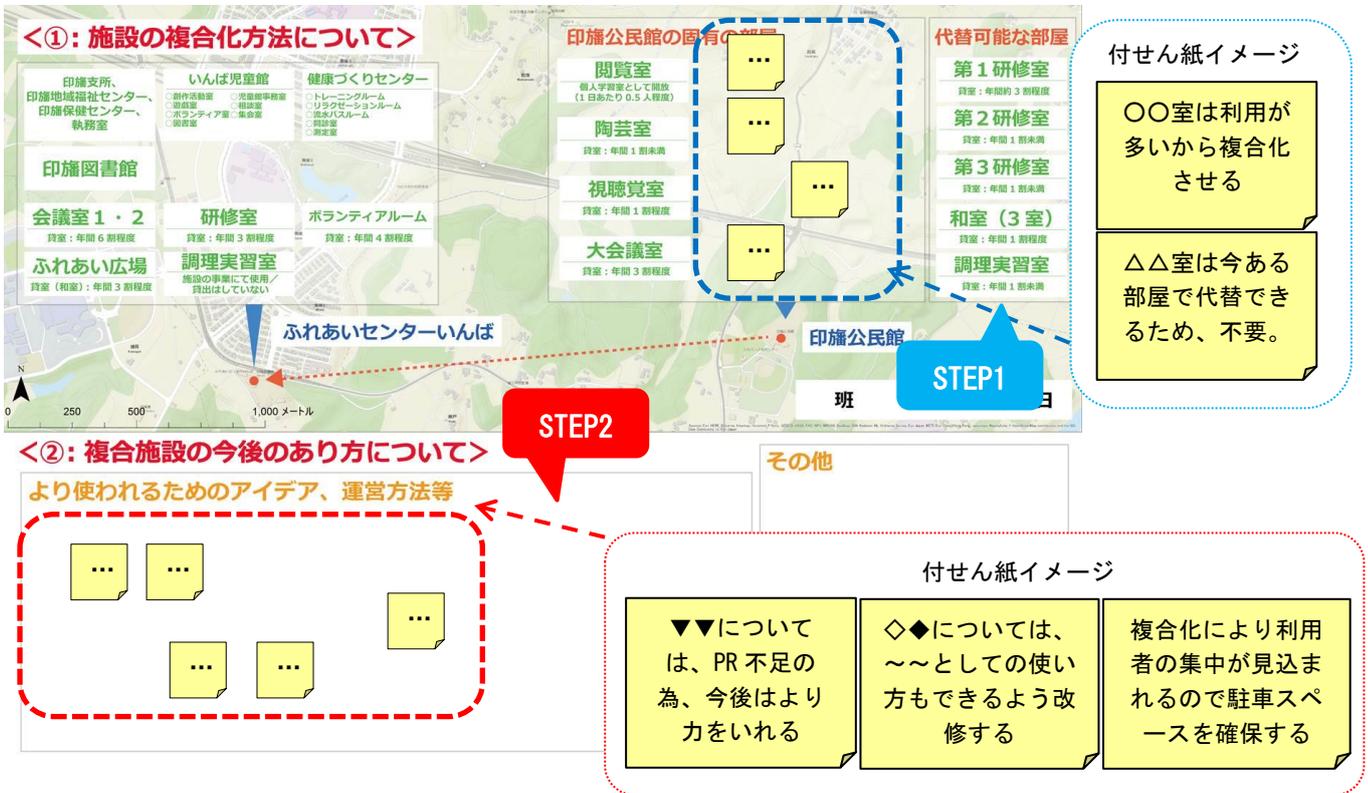
次に、複合化した施設について、より使い勝手がよくなり、様々な方に使われるためのアイデアや運営方法等について意見交換をして頂きました。

<STEP 1>

- 印旛公民館の各部屋について、ふれあいセンターいんぼと複合化させる必要があるかどうか考えて頂きました。

<STEP 2>

- 複合化した施設が、より使い勝手がよくなり、様々な方に使われるためのアイデア等を考えて頂きました。



<グループワークの様子>

＜①＞：施設の複合化方法について＞

健康づくりセンター
 ○トレーニングルーム
 ○エアロビクスルーム
 ○ヨガルーム
 ○調理学
 ○調理学

いんば児童館
 ○創作活動室
 ○児童部事務室
 ○児童部会議室
 ○ボウリング室
 ○図書室

印刷支所、印刷地域福祉センター、印刷保健センター、印刷執務室
 じどう改革(手)する分、

印刷図書館
 個人学習室
 スペースを増やす

会議室1・2
 貸室：年間6割程度

研修室
 貸室：年間3割程度

調理実習室
 施設の事業にて使用/貸出はしていない

ふれあい広場
 貸室(和室)：年間3割程度

ボランティアルーム
 貸室：年間4割程度

印刷公民館の固有の部屋
閲覧室
 個人学習室として開放(1日あたり0.5人程度)
陶芸室
 貸室：年間1割未満
視聴覚室
 貸室：年間1割程度
大会議室
 貸室：年間3割程度

図書館に併設
 陶芸ほか他の場所で行える。
 必要。残す。
 保健センターの場所に設置(保健センターに併設)
 ※多目的室とする。

代替可能な部屋
第1研修室
 貸室：年間約3割程度
第2研修室
 貸室：年間1割未満
第3研修室
 貸室：年間1割未満
和室(3室)
 貸室：年間1割程度
調理実習室
 貸室：年間1割未満

市と紹介する(例)
 利用者の確保の場所に設置

平球や体操などに利用できる機能は健康センターに併設

印刷公民館

B班 2019年7月7日

その他
 跡地に
 { 馬車場
 売却
 スポーツエリアと拡張
 地域の
 コミュニティセンター(小規模)

＜②＞：複合施設の今後のあり方について＞
より使われるためのアイデア、運営方法等

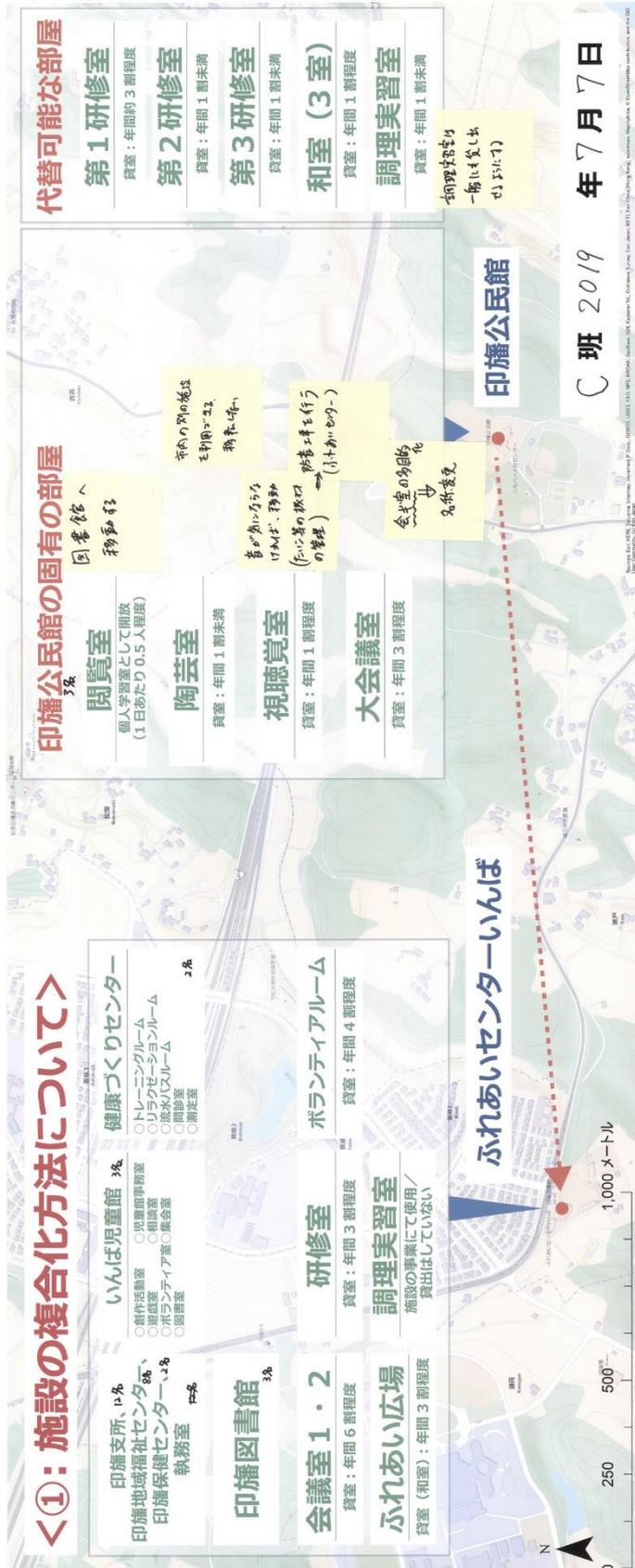
馬車場か入りにくい(ふれあいセンター)

部屋の多機能化

部屋の名称変更(多目的室とか)

施設の存在の周知

部屋の多機能化
 防音機能を持つ部屋を増やす。
 可変分割仕切り(壁)



＜②＞：複合施設の今後のあり方について＞

より使われるためのアイデア、運営方法等

その他

使用に不慣れな
方を対象として
取組む予定
保健センター
相談員が
担当

支所以外の
民間活用

支所機能の
一元管理し
職員は民間
委託でお願い

印旛公民館の
跡地利用を
民間活用
促進
市外の民間
委託で活用

市全体で
健康志士育成
（PR）
PR

<①> 施設の複合化方法について

<p>健康づくりセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> ○トレーニングルーム ○エアロビクスルーム ○ボウリングルーム ○開診室 ○調定室 <p>健康づくりセンター 健康づくりセンター 健康づくりセンター 健康づくりセンター</p>	<p>いんば児童館</p> <ul style="list-style-type: none"> ○創作活動室 ○児童館事務室 ○図書室 ○児童相談室 ○図書室 ○図書室 <p>いんば児童館 いんば児童館 いんば児童館 いんば児童館</p>	<p>印旗支所、印旗地域福祉センター、印旗保健センター、執務室</p> <p>印旗図書館</p> <p>会議室 1・2 貸室：年間 6 割程度</p> <p>ふれあい広場 貸室：年間 3 割程度</p>	<p>健康づくりセンター 貸室：年間 4 割程度</p> <p>ボランティアルーム 貸室：年間 3 割程度</p> <p>研修室 貸室：年間 3 割程度</p> <p>調理実習室 施設の事業にて使用 貸出はしていない</p>	<p>ふれあいセンターいんば 貸室：年間 3 割程度</p> <p>ふれあいセンターいんば 貸室：年間 3 割程度</p> <p>ふれあいセンターいんば 貸室：年間 3 割程度</p>	<p>印旗公民館の固有の部屋</p> <p>閲覧室 個人学習室として開放 (1日あたり 0.5 人程度)</p> <p>陶芸室 貸室：年間 1 割未満</p> <p>視聴覚室 貸室：年間 1 割程度</p> <p>大会議室 貸室：年間 3 割程度</p>	<p>代替可能な部屋</p> <p>第 1 研修室 貸室：年間約 3 割程度</p> <p>第 2 研修室 貸室：年間 1 割未満</p> <p>第 3 研修室 貸室：年間 1 割未満</p> <p>和室 (3 室) 貸室：年間 1 割程度</p> <p>調理実習室 貸室：年間 1 割未満</p>
--	---	---	---	--	---	--

印旗公民館
 D 班 2019 年 7 月 7 日

<②> 複合施設の今後のあり方について

より使われるためのアイデア、運営方法等

- 全園自治体 1600~1700 名園詳細
- 好事例と 親子の連携 報の提供
- 大学の協力 として健康づくりセンター運営
- 各施設は 100名程度の 必要十分な 情報が必要

その他

- 吉の だるまの かに製菓
- 人材育成 施設に 100名
- この二施設を 併せて 利用すると 高まる

意見のまとめ（第3回）

各班で意見交換をして頂いた内容を整理し、以下のように取りまとめました。なお、基本的に原文のままとしておりますが、一部、意味が変わらない程度に文言を改めている箇所がございます。

部屋名		意見		
印旛公民館に関する事	閲覧室	印旛図書館の一角に移動	印旛図書館の本を読むスペースを学習スペースとして利用する	
	陶芸室	どこかのスペースを使えば、陶芸室単独である必要はない	高齢者に人気があるので、廃止はしない方が良い	ボランティアルームを上手く活用
		使っている人がいるのであれば、あっても良い	陶芸は他の場所（公共施設）でもできる	市で他の場所（陶芸ができる公共施設など）を、利用者に紹介する
	視聴覚室	会議室に防音機能があるなら代替可能	ふれあいセンターいんばの部屋の防音工事を行い、代替する	旧印旛保健センターの場所に設置
	大会議室	屋内スポーツ施設として、複合化せずに残したらどうか	高台にあるので避難場所としても活用できる（複合化しない）	卓球や体操などに利用する機能は健康づくりセンターに統合
		ふれあいセンターいんばの会議室を多目的化する（名称変更）	旧印旛保健センターの場所に多目的室として設置する	
	調理実習室	機能を集約するのであれば、ふれあいセンターいんばの調理実習室を一般に貸し出せるようにする		
配慮事項	まずは現在使用している人の意向を確認するべき	現在は稼働率が低いですが、稼働が上がるような取り組みを検討しても良いのでは	公共交通の担保があれば、統合しても良いと思う	

項目		意見		
ふれあいセンターいんばとの複合化後に関すること	アイデア・運営方法等	使用していない旧印旛保健センターを改修して活用	事業が増えるため、ふれあいセンターいんばの建替えを検討する	利用者の増加が見込まれるので、より駐車場の利用がし易いようにする
		可動間仕切りの部屋にしたり、防音機能を持つ部屋を増やしたりする	部屋を多機能化する。名称も変更（多目的室とか）	使用していない旧印旛保健センターの建物は取り壊して利用する（駐車場等）
		コンビニ、商店を併設して利便性を高める	大学と協力した健康づくりセンターの運営	支所以外は民間活用とする
		印旛公民館と同じぐらいの開館時間とする	シルバー人材を活用した施設管理に取り組むのはどうか	より使われるために、高齢者のたまり場や、高齢者向けの事業を行ってはどうか。
	複合化を進める際の配慮事項	複合化によって利用が増えるので、利用が集中する時期でも待ちがないようにする必要がある。使用する時期が重なると利用できない人がでるのでは。予約が取りづらくなる。	住民・自治会（利用者）といった地区の意見を聞くべき	この地区の将来人口を考慮したまちづくりが必要。まちのビジョンがないと語れない
		成田空港の滑走路が10年以内にでき、人口が増えると見込むため、その時のことを考えるべき。	各施設がいつまで使えるかの情報が必要	市全体で統廃合を検討していることをPRする
		印旛公民館の跡地について、駐車場は売却し、その他の部分は、印旛中央公園のスポーツエリアを拡張	印旛公民館の建物については、規模を縮小し、地域のコミュニティセンターとして活用	印旛公民館の跡地利用を民間活用する。市外の人利用ができるようにする。
		昔のままの事業を行うのではなく、現状に応じた事業を展開してほしい		

意見のまとめ

<印旛公民館に関すること>

○いずれの部屋についても、機能としては必要であるが、多少の改修などを行えば、既存のふれあいセンターいんばの部屋で代替可能ではないかとの意見がありました。陶芸室については、市内の別の場所（公共施設）で対応ができるので、そちらを活用してもらっても良いのではないかと意見もありました。

○また、複合化に取り組む前に、現在使用している方の意向確認や、施設がもっと利用されるための方法を考えてみた方が良いのではないかと意見がありました。

<ふれあいセンターいんばとの複合化後に関すること>

○複合化により行う事業が増えるため、現在使用していない旧保健センターの建替えや、ふれあいセンターいんばそのものの建替えを検討しても良いのではないかと意見がありました。また、部屋の構造として、単一の目的だけでなく、多目的に使えるように改修を行ってはとの意見もありました。

○運営方法として、より利便性を高めるため、コンビニや商店を誘致することや、大学と協働による事業実施、民間活用による管理運営等に取り組むことが意見としてありました。

○配慮事項として、利用者増加により待ち時間が増えることや、将来を見据えた取り組みが必要であること、印旛公民館の跡地利用の検討や現状に応じた事業展開が必要であること等が意見としてありました。

4. 参加者アンケートの結果

公共施設の今後を考える市民ワークショップアンケート集計結果 (16名)

問1 あなたの性別は？

1	男	15
2	女	1
3	回答しない	0

問2 あなたの年齢は？

1	18歳～29歳	1
2	30代	3
3	40代	0
4	50代	0
5	60代	4
6	70歳以上	8
7	回答しない	0

問3 市民ワークショップを何で知りましたか？(複数回答あり)

1	市の広報紙	7
2	市のホームページ	3
3	公共施設のポスター・チラシ	2
4	案内ハガキ	3
5	知人等からの紹介	3
6	その他(ツイッター)	1

問4 市民ワークショップの回数はいかがでしたか？

1	多い	0
理由		
2	ちょうどよい	10
理由	・多すぎると日程の調整が難しく、少ないと内容が薄くなりすぎるため ・回数は適当ですが、時間をもう少し長くしてもらいたかった	
3	少ない	5
理由	・5回程度希望	
0	未回答	1
理由	・目的(求められる事)の理解が出来ていないので、回数(必要な時間)は？	

問5 市の公共施設の現状と課題(第1回目)は、理解できましたか？

1	理解できた	10
理由	・市政の問題点を語る場を多く設けて欲しい ・事前の配布資料、当日の説明が分かりやすかった ・機能集約は今後必要なことが理解できた ・年の経過と共に、問題が出てくる。いかに問題解決していくか	
2	理解できなかった	3
理由		
3	どちらともいえない	2
理由		
4	欠席した	0
理由		
5	その他	0
理由		
0	未回答	1
理由	・一般論としては理解出来た？各論としては理解出来ない？	

問6 市民ワークショップに参加して、公共施設についての認識は変わりましたか？

1	変わった	7
理由	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は利用者目線なので、今回に参加して運営者目線の考えを持つ事が出来た。 ・市の財政、施設の現状に関する理解が深くなった？ ・それまで特に意識することがありませんでしたが、公共施設は市民の財産であるということ意識し、財政面での持続性や施設の有効活用法をみんなで考えていくべきだと思います。 ・今後財政を考えると、行政に依存するだけでなく企業、大学、市民共同の街づくりが必要とと思いました。 	
2	変わらなかった	2
理由		
3	どちらともいえない	3
理由		
4	参加する前から課題などを認識していた	3
理由	・印西町から印西市への移行と人口分布の変化にいかに対応するか。	
5	その他	0
理由		
0	未回答	1
理由		

◎市民ワークショップ全体の感想や今後の公共施設について思ったことなどを、自由に記載してください。

・参加できた事は、とても貴重な時間でした。ありがとうございました。今回のワークショップ中にアイデアを出す時間だが、その事柄に関する数値、情報が知りたい時間が多かった。事前に質問シートを配付する等でワークショップの時間をもっと話し合いたかった。色々とお忙しいと思いますが、今後の参考にさせていただければと思います。

・参加者から意見ありましたように、情報提供を！

・例えば、公民館の利用実績、費用等の情報を出来るだけオープンにして欲しい。

・ワークショップを行うにあたり、各地域拠点の印西市の実態（人口、年齢別世帯、交通、医療、社会福祉、教育など）データが必要。公共施設の10年～20年後に求められる機能の整理、（保健センター、健康センター、図書館、防災など）ハードの統廃合の発想ではダメ、将来求められるソフト機能の面からもアプローチする必要あり。

・市をブロックに区切り、複合化を早急に始めて欲しい。

・市の出張所としては、市役所で出来る業務の90%位は処理できるようにして欲しい。開所時間は月曜のみ休みで、時間は夜9時頃まで延長する。

・避難場所と防災倉庫の併設設置

・図書館（木刈規模）、室内スポーツ施設（卓球、パドミントン、バレー、バスケット）、健康づくりセンター（有酸素運動、高齢化防止）、コンビニの併設、テラス設置

・案内ハガキは40歳未満の人への案内ということでしたので、実際に来てみて高齢者が多く驚きました。市のほうで少し選考した方がよいのでは。

・市と委託業者のすり合わせはもっとしっかりしておくべきだと思います。

・全3回の市民WSに参加し、とても良い経験ができたと思います。ありがとうございました。

・市の別の部署の説明会が同じ時間にあり、どちらも参加したかったため、可能であれば時間がずれていればよかった。（6月15日の回）

・せっかく多くの方というんな意見を出したため、何らかの形でそれが少しでも反映されるといいかと思います。

・前回の振り返りの時間は、事前資料でも配布されているのでもう少し短くてよいかと思います。

・市の人口を増加させるような施策を積極的に打つことが、最良の方法と考えますが如何ですか。（人の増加により、イキイキとした市かつ税収の増加）。このことについて、市民の意見をドンドン入れたものが良い計画につながると思います。（他の成功事例のように）

・ワークショップの討論時間が少ない。

・今後もこのような機会があれば、参加したいと思っています。ワークショップ大変良かった。

・今回のようなワークショップも有効ですが、より市民の意見を聞くためにアンケートを実施しても良いと思います。

・印西町からの公共施設が多く、印西市に移行してからの施設が少ない。特に若い人の為の施設がない。高齢者が増加するが、幼児・小中学生も多くなっている。大きな図書館の設立をお願いします。特に多世代交流も出来る多目的施設を。印西市をアピール出来る何かを考えて下さい。北総線の駅に印西市を設置して下さい。

・2回目、3回目と参加者が減少していることが残念だ。特に学生の方（1回目に参加したような方）には、交通費、日当の支給を検討すべきでは。内容については、どうしても「情報の差」が目立ってしまい、発展しなかった。

※基本的に原文のままとしておりますが、一部、意味が変わらない程度に文言を改めている箇所がございます。